

環境活動レポート



エコアクション21
認証番号 0008443

ありがとう70周年、
そして未来へ。

70th
Anniversary



2017.1.4 仕事始め

対象期間：2016.7～2017.6【第61期】



人、暮らし、エネルギー。

白鷺電気工業株式会社

<発行：2017年12月1日 第6版>

目次

1.	会社概要	1
2.	企業使命感・存続6ヶ条	2
3.	EA21環境方針	2
4.	実施体制	3
5.	環境負荷設定と環境目標	4
	5-1 環境負荷設定		
	5-2 環境目標		
6.	環境活動計画 2016年度【第61期】	5
7.	環境活動取組結果の評価	6～7
	7-1 環境負荷実績		
	7-2 燃費向上への取組		
8.	環境活動履歴 2016.7～2017.6	8～9
	2016 夏		
	2016 秋～冬		
	2017 春～夏		
9.	各部の取組	10～17
	発電電部	送電部	
	情報通信部	電設部	
	営業部	管理本部	
	安全品質環境推進室		
	イノベーション経営企画室		
10.	八代支社の取組	18
11.	しらさぎエナジーの取組	19
12.	環境関連法規への違反・訴訟	20
13.	代表者による全体評価と見直しの結果	21
	ごあいさつ		
	代表者による全体評価と見直しの結果		
14.	次年度の環境活動計画 2017年度【第62期】	22



1. 会社概要

会社概要

企業使命
環境方針

実施体制

環境負荷
設定と目標

活動計画

取組結果の
評価

活動履歴

取組

法規への違反・訴訟

全体評価と
見直しの結果

次年度の活動計画

1. 企業名 白鷺電気工業株式会社
2. 代表者 代表取締役社長 沼田 幸広
3. 所在地 本社 熊本市東区石原 1 丁目11-29
八代支社 八代市宮地町1680
福岡支社 福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3 階
京都支社 京都市右京区梅津南広町6-1 エスパシア梅津4-A号
人吉営業所 人吉市願成寺町1343-1
鹿児島営業所 鹿児島市西千石町11-21 鹿児島MSビル6階
水俣営業所 水俣市浜町1丁目2-22
しらさぎエナジー株式会社 上益城郡益城町小谷2224-8
4. 事業規模
 - 1) 資本金 1 億円
 - 2) 事業内容 電気工事業、土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業、水道施設工事業、管工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、機械器具設置工事業
 - 3) 従業員数 1 2 5 名 (2017.6.30現在)
本社：75名 八代支社：39名 福岡支社：1名 京都支社：5名
人吉営業所：2名 鹿児島営業所：1名 (情報通信部長兼務)
水俣営業所：1名 しらさぎエナジー：7名 (5名は白鷺電気社員兼務)
5. 環境管理責任者名及び連絡先
 - 1) 氏名 環境管理責任者 安全品質環境推進室長 二俣 治雄
EA21推進担当者 安全品質環境推進室 担当 谷本 里恵
 - 2) 連絡先 本社 電話：096-380-7171 FAX：096-380-7140
URL <http://www.shirasagidenki.co.jp>

しらさぎでんき

検索



2. 企業使命感・存続6ヶ条

企業使命感

くらしと産業の礎をひらく パートナーシステムの白鷺電気工業

存続6ヶ条

1. 〈安全〉 私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくります。
2. 〈協調〉 私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
3. 〈技術〉 私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
4. 〈啓発〉 私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日、今日よりも明日と自分をみがきます。
5. 〈システム〉 私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行ないます。
6. 〈業績〉 私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げることで信用・業績を高めます。

3. EA21 環境方針

我社は、「企業使命感」及び「存続6ヶ条」を使命とし、事業活動において生じる環境への影響を最小限に抑えるために、以下の方針を基に環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善します。

1. 日常の業務において環境へ与える影響を把握し、技術的・経済的に可能な範囲で次の各項目を環境管理の重点課題として取り組み、環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
 - a. 建設機械及び車両の環境影響の低減
 - b. 事業廃棄物の発生抑制、再利用及びリサイクルの推進
 - c. 省資源・省エネルギーの推進
 - d. 水使用量の削減
 - e. グリーン購入の推進
 - f. 製品・サービスに関する環境配慮
 - g. 化学物質の適正な管理
2. 我社の事業活動に関わる環境関連の法規制及び、受入れを決めたその他の要求事項を遵守して、継続的に取組みます。
3. この環境方針を全社員に周知し、これを理解し実践できるよう教育活動を推進すると共に、我社の環境保全活動について、ご理解ご支援を頂くために一般の方々にもこの環境方針を含め環境活動レポートを公開します。

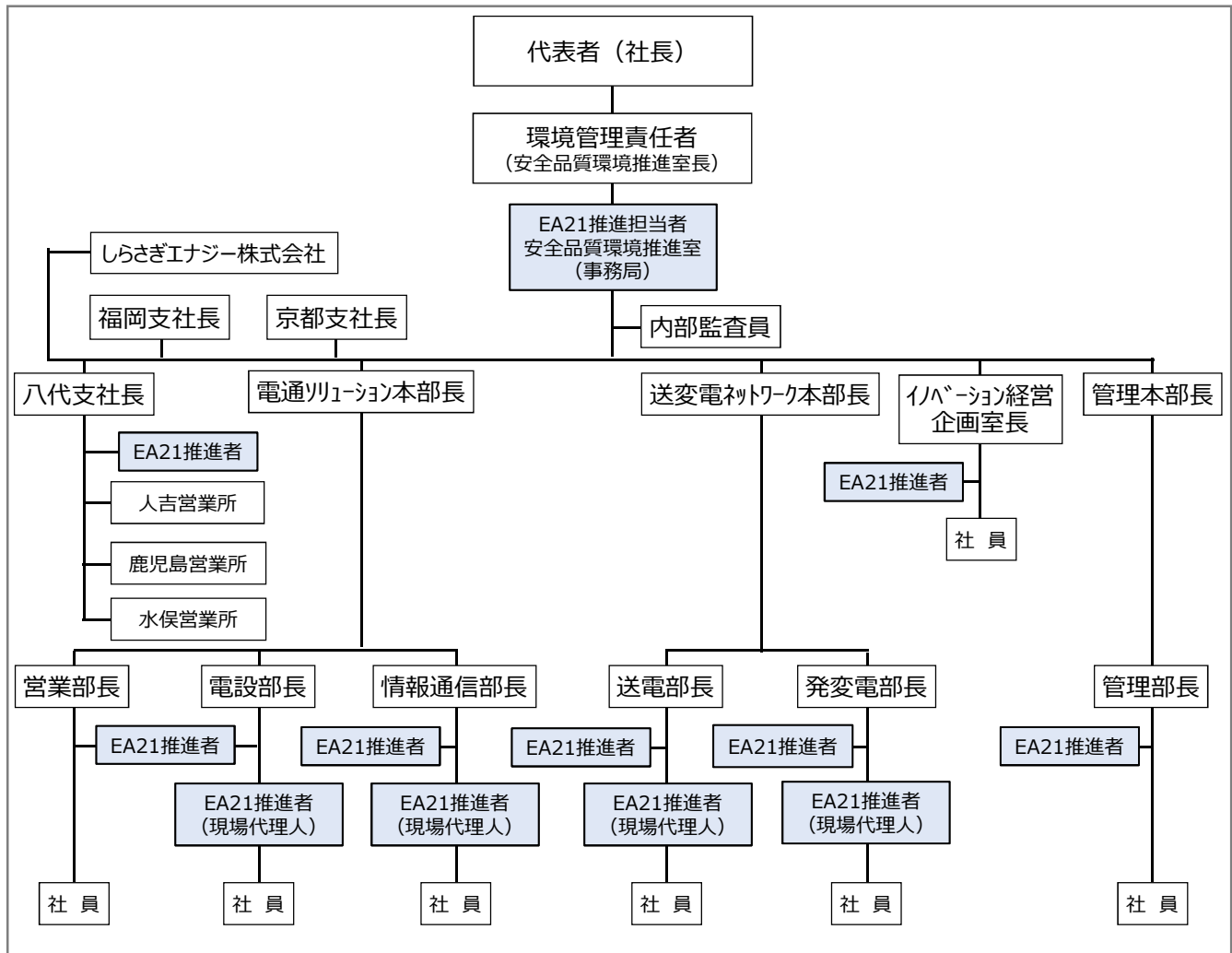
制定 2011年12月1日

改訂 2014年 9月1日

白鷺電気工業株式会社

代表取締役社長 沼田 幸広

4. 実施体制



順位	主な責任と権限
代表者（社長）	環境方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の準備
環境管理責任者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境活動計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境活動レポートの確認と公表
EA21推進担当者（事務局）	環境活動における事務局としての環境管理責任者の補佐 活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 環境関連法規の取りまとめ及び環境活動レポートの作成、環境管理責任者への報告
EA21推進者	環境活動の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
EA21現場推進者（現場代理人）	環境活動の現場における記録と事務局への報告 現場内における緊急事態への対応訓練実施と記録及び事務局への報告 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
全社員	環境方針、環境目標に沿った活動の展開 環境活動における改善点の提言

会社概要
企業使命
環境方針
実施体制
環境負荷
設定と目標
活動計画
取組結果の評価
活動履歴
取組
法規への違反・訴訟
見直しの結果
次年度の活動計画

5. 環境負荷設定と目標

5-1 環境負荷設定

項目	2013年～2015年の最低値	2013年実績	2014年実績	2015年実績
総排出量	316,197kg-CO2	351,872kg-CO2	335,543kg-CO2	316,197kg-CO2
電力	87,881kWh	*85,215kWh	90,074kWh	87,881kWh
ガソリン	73,451ℓ	89,575ℓ	82,035ℓ	73,451ℓ
軽油	30,411ℓ	31,181ℓ	30,411ℓ	32,244ℓ
灯油	3,409ℓ	4,461ℓ	4,539ℓ	3,409ℓ
一般廃棄物排出量	8,380kg	8,380kg	9,535kg	10,762kg
産業廃棄物排出量	16,612kg	21,921kg	19,837kg	16,612kg
水使用量	550㎡	*425㎡	550㎡	580㎡
化学物質購入量	316ℓ	1,683ℓ	491ℓ	316ℓ

(注記) *電力は、京都支社を加えた2015年実績を基準とする。
*水使用量は、2012年の10月よりメーターが設置されたため、2014年実績を基準とする。

5-2 環境目標 *2013年～2015年実績の最低値を基準とし、目標の中期計画を立てた。

区分	項目	基準年	3年間の目標		
		2013年～2015年の最低値	2016年目標	2017年目標	2018年目標
二酸化炭素排出量	総排出量の削減	316,197kg-CO2	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			313,035kg-CO2	309,873kg-CO2	306,711kg-CO2
	電力の削減	87,881kWh	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			87,002kWh	86,123kWh	85,245kWh
	ガソリンの削減	73,451ℓ	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
72,716ℓ			71,982ℓ	71,247ℓ	
軽油の削減	30,411ℓ	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%	
		30,107ℓ	29,803ℓ	29,499ℓ	
灯油の削減	3,409ℓ	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%	
		3,375ℓ	3,341ℓ	3,307ℓ	
一般廃棄物排出量	一般廃棄物削減(リサイクル率向上)	8,380kg	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			8,296kg	8,212kg	8,129kg
産業廃棄物排出量	産業廃棄物削減(リサイクル率向上)	16,612kg	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			16,446kg	16,280kg	16,114kg
水使用量	水使用量の削減	550㎡	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			545㎡	539㎡	534㎡
グリーン購入	グリーン購入の推進	4件	基準年の1種類増加	基準年の2種類増加	基準年の3種類増加
			5件	6件	7件
環境に配慮した事業活動	社会への啓発活動の推進	販売・イベント参加：4件/年	販売・イベント参加：4件/年	販売・イベント参加：5件/年	販売・イベント参加：6件/年
化学物質の管理	化学物質削減適切な管理	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認
		1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期

(注記) 1. 電気の二酸化炭素排出係数は2015年度九州電力の実排出係数0.598を使用する。
2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びSDSに沿った適切な取扱と管理の実施を行う。

6. 環境活動計画 2016年度【第61期】

* 環境方針にもとづく環境影響削減及び抑制と広報活動

No.	項目		活動の具体的内容	活動場所	担当部門
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等 燃料使用状況の 精度向上	車両管理表への記入徹底を呼 びかけ、燃費を管理する	一般道 高速道	全部門 安品環推進室
			エコドライブとエコサム導入による 燃費向上	業務中・通勤	
2	環境配慮	省エネ省コスト 提案	HEMS、省エネ関連製品の 提案・導入促進	市場	営業部、電設部 イノベーション経営企画室
			環境活動 ボランティア活動の 拡大	植林地除草刈り	南阿蘇村
		地域に役立つ社会貢献として 熊本城と八代城跡の清掃活動		熊本市 八代市	
		くまもと環境フェアへの参加 (動植物園の復旧次第)		熊本市	
		マイ・リバー・サポートへの参加	熊本県	営業部	
グリーンエネルギー 事業の活用	太陽光発電所発電事業	本社 益城町	営業部・電設部 しらさぎエナジー		
3	産業廃棄物	現業部門排出量 実態把握	マニフェストの管理と分別収集の 徹底	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 間接部門
4	電気・ 水使用量	電気・水使用管理	使用量の把握と削減	本社・八代支社 京都支社	管理本部 安品環推進室
5	化学物質	SDSに基づく 適正管理	倉庫の整理・整頓 (SDS製品の徹底管理)	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 安品環推進室
6	環境全般	環境教育の充実	教育資料の作成と部会に参加 し環境教育を実施する	本社・八代支社 各建設現場	安品環推進室
			各事業所単位の 環境活動支援	地域ボランティアによる環境配慮	本社・八代支社 人吉営業所
		ノーマイカーデーの実施		管理本部	
		グリーンカーテンの実施		本社・八代支社	管理本部
		グリーン調達の推進			
EA21取組み	EA21環境教育と意識の向上 エコ検定	本社・八代支社 各建設現場	本社 管理本部 安全品環推進室		

会社概要

企業使命
環境方針

実施体制

環境負荷
設定と目標

活動計画

取組結果の
評価

活動履歴

取組

法規への違反・訴訟

全体評価と
見直しの結果

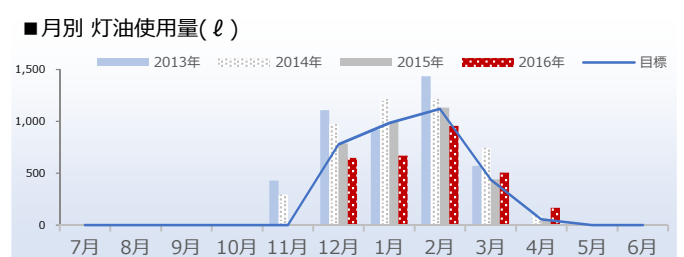
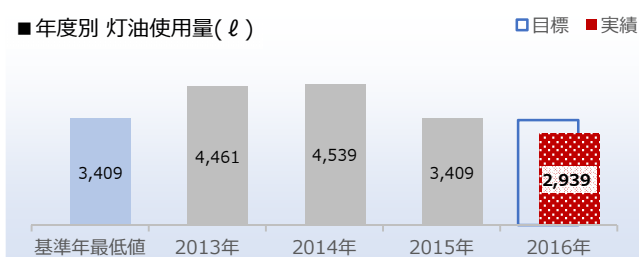
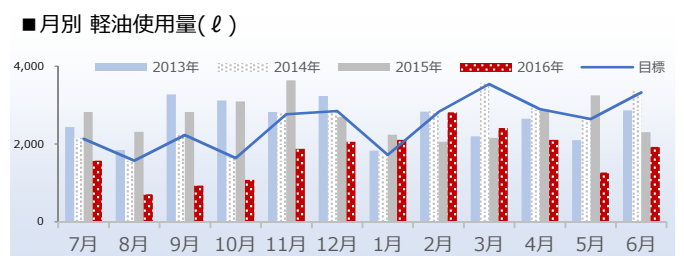
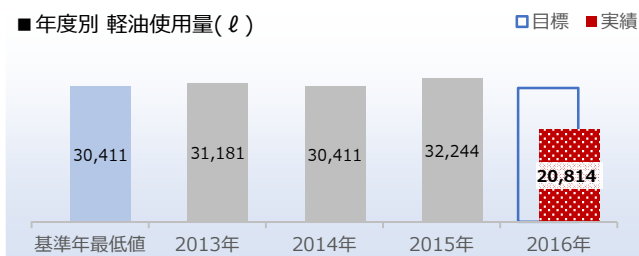
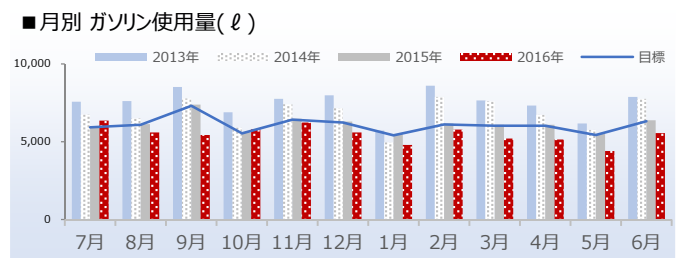
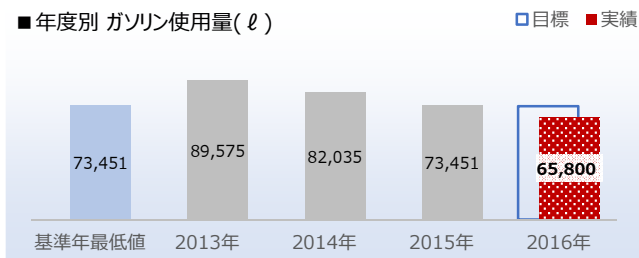
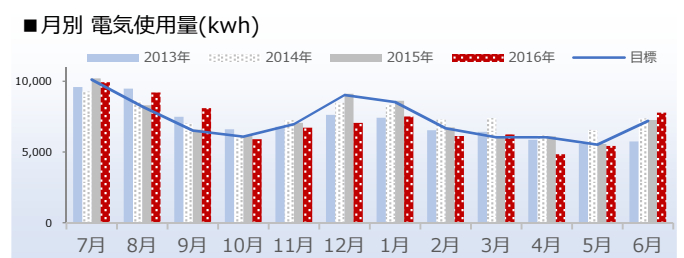
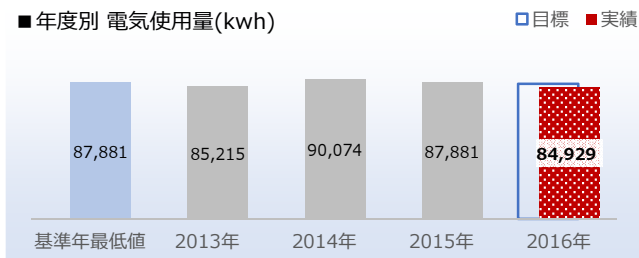
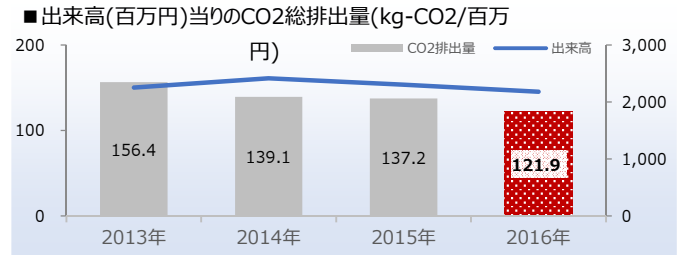
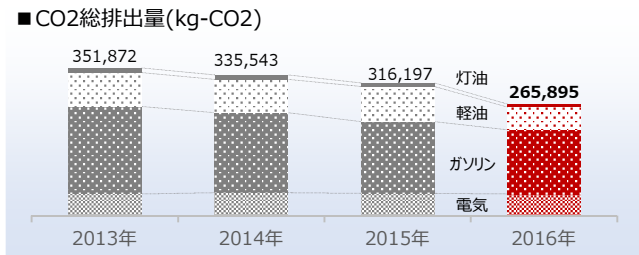
次年度の活動計画

7. 環境活動取組結果の評価

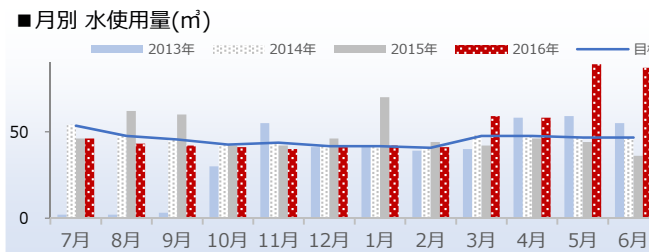
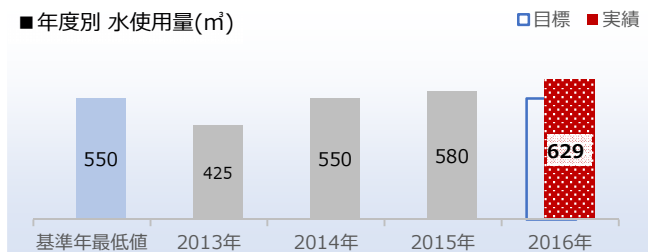
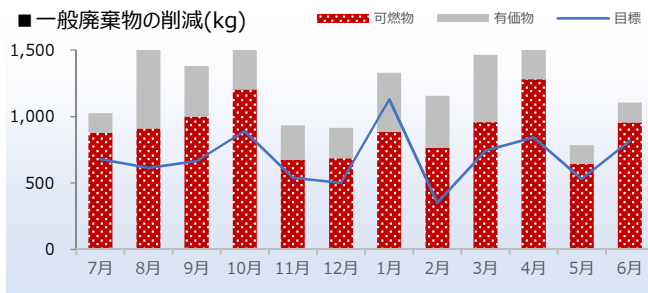
環境目標と取組実績（運用期間：2016年7月～2017年6月）

7-1 環境負荷実績 * 数値目標は2013年～2015年実績の最低値を基準とし、1%削減を環境目標とした。

項目	基準年 2013年～2015年実績 の最低値	2016年 対象期間		
		目標値	実績	達成度
CO2総排出量	316,197kg-CO2	313,035kg-CO2	265,895kg-CO2	117.7%
電気使用量	87,881kWh	87,002kWh	84,929kWh	102.4%
ガソリン使用量	73,451 l	72,716 l	65,800 l	110.5%
軽油使用量	30,411 l	30,107 l	20,814 l	144.6%
灯油使用量	3,409 l	3,375 l	2,939 l	114.8%

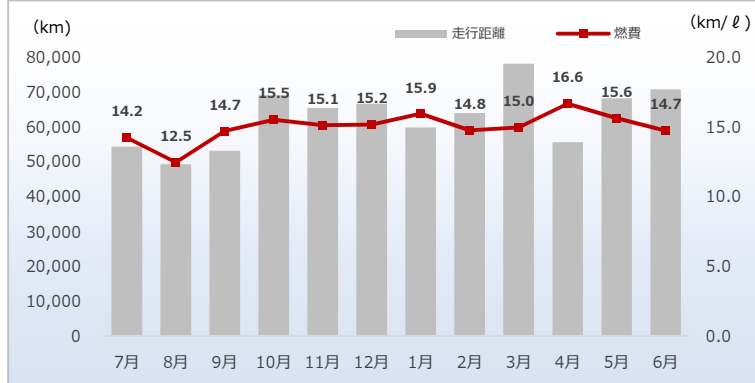


項目	基準年 2013年～2015年実績 の最低値	2016年 対象期間			
		目標値	実績	達成度	
一般廃棄物の削減	8,380kg	8,296kg	10,838kg	76.5%	😊
産業廃棄物の削減	16,612kg	16,446kg	28,507kg	57.7%	😞
水使用量	550m ³	517m ³	629m ³	82.2%	😊
グリーン購入	4件	4件	4件	100.0%	👑達成
環境活動に配慮した事業活動	参加：4件/年	参加：5件/年	参加：3件/年	75.0%	😊
化学物質購入実績	316ℓ	—	523ℓ	—	—



- [軽油使用量] は、リース車両の増車が少なかった事と燃費の良いガソリン車に移行した結果、前年対比の約35%削減することが出来ました。
- [ガソリン使用量]は、ハイブリッド車への移行により前年対比の約10%削減出来ました。
- [一般廃棄物・産業廃棄物]は、地震後の廃棄物及び社屋移転に伴う整理整頓を実施した結果、増加しました。
- [水使用量]は、地震により使用していない配管が故障し水漏れしたため、5～6月の使用量が通常の2倍近くになりました。
- [環境活動に配慮した事業活動]では、熊本地震の影響により通年実施していた「熊本城石垣除草」「八代城跡・水島清掃」「くまもと環境フェア」への参加が出来なかったため、目標達成には至りませんでした。

7-2 燃費向上への取組 (平均燃費15.0km/ℓ ハイブリッド車を含む)



白鷺燃費 No.1 グランプリ

普通ライトバン 部門		
🥇	34号車	15.7km/ℓ (送電部)
🥈	36号車	14.7km/ℓ (送電部)
🥉	39号車	14.7km/ℓ (送電部)
軽ハコバン 部門		
🥇	63号車	16.3km/ℓ (情報通信部)
🥈	900号車	16.1km/ℓ (情報通信部)
🥉	H005号車	15.0km/ℓ (送電部)

- 各部より「燃費管理表」の提出は増えたものの、給油記入漏れなどがあり正確なデータが取れなかった。部会等に参加し、正確なデータ収集を呼びかけたいと思います。
- 昨年度の燃費と比較すると、全部門で燃費が向上しました。リース期間満了に伴い、燃費効率の高い車両へ変更したのが良い結果に結び付いたと思われます。
- 「まとめてくるまティクス」を導入し、運転評価レポートを基にして、燃費向上・コスト削減またECO運転に努めます。

8. 環境活動履歴 2016.7~2017.6

2016 夏	江津湖水草除草	2016.07	熊本市	総勢116名 初めての挑戦!
	熊本県経営者協会 社内報コンクール★	2016.07	熊本市	「企画賞」受賞
	「熊本県森林吸収量認定書」授与★	2016.08	熊本県	平成22年度から6年連続!

毎年実施していた「熊本城石垣除草清掃ボランティア」及び「八代城跡・水島清掃ボランティア」は、『H28年熊本地震』の影響により清掃活動が出来ませんでした。そこで7月2日 総勢116名で初めて江津湖の水草除草に挑戦しました。

初めての挑戦!

江津湖 水草除草ボランティア



江津湖は熊本市の中心部に位置する周囲6kmの湖です。貴重な水生生物や野鳥をみることもでき、「日本一の地下水都市・熊本」のシンボリック的存在です。休日にもなると湧水広場で遊ぶ親子連れなど多く見られ、市民の憩いの場や子供たちの自然学習の場として活用されています。



江津湖管理事務所より諸注意



今回も基本のラジオ体操から始めます



こんなところにも!



素晴らしいチームワーク!



この段差、結構こたえます



集めた草は収集車へ



「何がおると〜?」興味津々



ボランティアの後のお弁当は格別!



清掃終了時には沢山の親子連れが...

■ 2016年4月に発生した熊本地震では・・・

『安全第一で今日も一緒にガンバロー』をスローガンとして、社員一丸となって災害復旧・復興に努めました。右は、その作業の様子を1枚1枚写真に撮り『熊本県』の地図で表したものです。今でもこれを見ると当時の苦勞が思い出されます。

またこの地震により本社屋は「半壊」の判定を受け、2018年1月「災害に強い・環境に優しい」新社屋に移転することとなりました。詳細は、次号（2018年出版）の環境活動レポートでお知らせいたします。



2016 秋～冬	くもとマイ・リバー・サポート事業	2016.10	熊本県	白川・鹿帰瀬地区清掃活動 参加者13名
	南阿蘇植林地下草刈り	2016.10	南阿蘇村	参加者37名
	「第9回環境活動レポート大賞九州」★	2016.11	九州	「九州地方環境事務所長特別賞」受賞
	消防訓練	2016.12	本・支社	本社42名、支社20名
	すいかの里植木 急速充電器運用開始	2016.12	植木町	全国道の駅初の予約機能付き
	「第20回環境コミュニケーション大賞」★	2017.02	全国	環境活動レポート部門「優良賞」受賞



2017 春～夏	「DB」BCM格付認定証★	2017.05		日本政策投資銀行より認定
	安全祈願祭「新社屋改修工事」	2017.06	新社屋	創業70周年記念事業 2018.1竣工予定
	南阿蘇植林地下草刈り	2017.06	南阿蘇村	参加者51名



★受賞・認定★

今期も様々な賞を受賞しました。
皆さまのご支援に感謝いたします。




第59期
「環境活動レポート」が
2つの賞を受賞しました。

環境活動の紹介を行う
コミュニケーションツール
として活用していただく事
を目指します。



9. 各部の取組 発変電部

 <p>EA21 運用と定着</p>	今期取組	<p>1. SDS製品の管理徹底 ・管理基準を作成 ・管理基準に従い在庫数量や表示、施錠状態をチェックする。 ・SDSの勉強会を年2回実施する。 ・SDS製品の保管数量等を見直しチェックする。</p> <p>2. 地域ボランティアによる環境配慮 ・大口工事件名について、変電所周辺のゴミ拾い、その他作業については、空き時間を利用し除草作業を実施する。 ・停止作業時、停止操作の待ち時間を活用し、トイレ清掃、除草作業の実施</p>	評価	S
	来期取組	<p>1. SDS製品の管理徹底 ・管理基準に従い在庫数量や表示、施錠状態をチェックする。 ・SDSの勉強会を年2回実施する。 ・油倉庫の設置を、会社へ要望出来るよう設置に伴う必要な事項を調査し、提案書の作成を行う。</p> <p>2. 地域ボランティアによる環境配慮 ・大口工事件名について、変電所周辺のゴミ拾い、その他作業については、空き時間を利用し除草作業を実施する。 ・小口工事においては、作業の空き時間を活用し、トイレ清掃、除草作業の実施する。</p>		S
達成度評価		<p>S: 指摘数 0 S: 12件以上</p> <p>A: 勉強会実施 A: 10~11件</p> <p>B: 在庫数量チェック B: 8~9件</p> <p>C: 油倉庫内整理 C: 6~7件</p> <p>D: 管理基準作成 D: 6件未満</p>		

Action

■ 地域ボランティア活動

日付	場所	人数
2016.9.20	竹の川変電所周辺	発変電部2名、協力会社2名
2016.10.11	志岐変電所周辺	発変電部2名、協力会社2名
2016.12.14	南熊本変電所周辺	発変電部3名、協力会社3名
2017.1.6	志岐変電所周辺	発変電部1名、協力会社7名
2017.2.14	矢部変電所周辺	発変電部2名、協力会社2名
2017.2.27	一の瀬変電所周辺	発変電部4名、協力会社2名
2017.3.17	南熊本変電所周辺	発変電部1名、協力会社3名
2017.5.18	川辺川第二発電所周辺	発変電部3名、協力会社2名
2017.5.26	御船変電所周辺	発変電部2名、協力会社2名
2017.6.7	一の宮変電所周辺	発変電部2名、協力会社3名

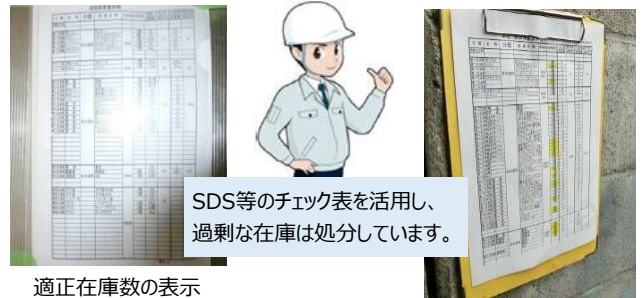


■ 現場の廃棄物置場

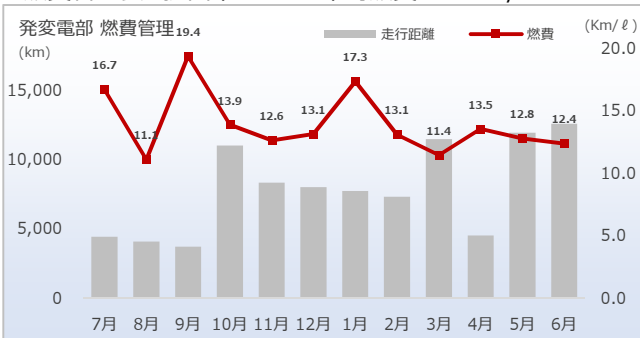
現場では、産業廃棄物を分別し決められた場所に保管・管理しています。



■ SDS製品等の在庫数量の表示、見直しのチェック



■ 燃費管理表の提出率72.7% 平均燃費13.2km/ℓ





使用した工具等は、都度整備を行い、所定の位置へと整理整頓に努めています。
また、地域ボランティアでは、12箇所の作業場周辺をゴミ拾い等を実施し、きれいで住みやすい熊本を維持出来る事を願い頑張っています。

Shirasagidenki

発変電部 石橋EA21推進担当

送電部

 EA21 運用と定着	今期 取組	1. エコ活動の推進 ・工具・機材の不備による災害や作業遅延を防止する為、持ち出しや返却時の点検整備を強化する。 <small>*達成度評価は、使用時の整備不良による使用不可回数で評価</small>	評価 S A		
	達成度評価	S: 0回 S: 5回以上		A: 1回 A: 4回	B: 2回 B: 3回
 Action	来期 取組	1. エコ活動の推進 ・EA21で取り組んでいる環境活動についての勉強会を実施する。 2. ボランティア活動 ・環境配慮に伴い、支社周辺及び現場周辺のゴミ拾いまたは清掃活動を実施する。			

■ 工具・機材の点検整備の実施



日奈久田浦線(架線工事)
持ち出し時、点検整備の実施



日奈久田浦線(架線工事)
持ち出し時、点検整備の実施



内谷送電線(架線工事)
工具返却時、点検整備の実施

■ 支社周辺のゴミ払い及び清掃活動の実施



2016.8.20



2016.9.17



2016.10.15



2016.12.10

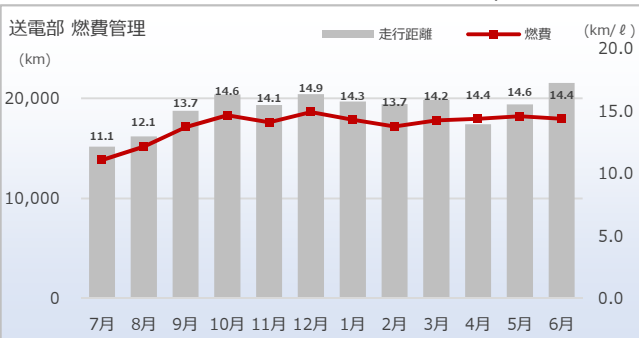


2017.1.21



2017.6.22

■ 燃費管理表の提出率100% 平均燃費13.8km/ℓ



工具・機材の不備による災害や作業遅延を防止する為、持ち出し時及び返却時の点検整備を行ってまいりました。工具管理システムの運用も確立できたと思います。今後も継続できるように部員一丸となり点検整備を実施し、工具等は大切に取扱うように指導・教育したいと思います。

Shirasagidenki



送電部 今村EA21推進担当

会社概要
企業使命
環境方針
実施体制
環境負荷
設定と目標
活動計画
取組結果の評価
活動履歴
取組
法規への違反・訴訟
全体評価と見直しの結果
次年度の活動計画

情報通信部

<p>EA21 運用と定着</p>	今期取組	1. 地域ボランティアによる環境配慮 ・お客様設備の清掃活動を行う。 2. 書類と機材工具の管理方法を改善 ・部が所有している機材工具類をコンテナ化する。	評価 S A
	達成度評価	S : 10箇所以上 S : 0回 A : 8箇所以上 A : 1~2回 B : 5箇所以上 B : 3~4回 C : 3箇所以上 C : 5~6回 D : 3箇所未満 D : 7~8回	
<p>Action</p>	来期取組	保管書類のビジュアルマネジメント ・保管文書をエリア分けし、管理担当者（正・副）を明確に設定することにより保管状況の改善と整理・整頓を図る。	

■お客様設備や周辺の清掃活動を実施

工事に携わった作業員と共に工事現場周辺の清掃活動を行うことで、お客様や近隣にお住まいの地域住民から喜んで頂いた。工事の際も気持ち良く作業する事ができ、又地域住民からの苦情防止にも繋がった。

* 清掃活動 *

期	予定	実績	合計	局舎名
1/4	2	2	2	松島光中継所・松橋局
2/4	2	2	4	弓削局・益城局
3/4	3	3	7	八代田中局・水俣局・人吉局
4/4	3	3	10	玉名局・矢部局・龍田分散局

松島局

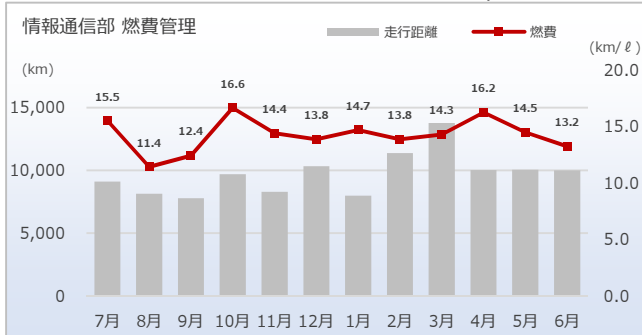


■機材工具類をコンテナ化

情報通信部が所有している機材工具類をコンテナ化して機械工具台帳と点検要領書を作成し、若手社員に工具の取扱いや点検方法を教育した。



■燃費管理表の提出率99% 平均燃費14.2km/ℓ



普段、現場での作業の事にしか気をとられなかった部員も計画を立て意識する事で、部員全員でやる気を持って実行する事ができ本当によかったです。地域住民の方からもよく声を掛けて頂き、少しでも喜んで頂いたと思います。
機材工具類のコンテナ化をする事によって見える化になり、整理整頓の意識付けができました。点検要領書を作成した事により、若手部員だけでなく部員全員が再確認する事ができよかったです。

Shirasagidenki

情報通信部 日笠山EA21推進担当

	今期取組 1. 八代支社のLED化 ・支社の照明をLED化、引込受電契約を見直すことで費用効果を試算する。電気料金削減により、費用回収期間等を管理本部と協議し、実施する。 2. 公共工事現場における清掃活動の支援参加 ・官公庁受注工事物件における周辺道路等の清掃活動を行い、顧客とのコミュニケーションを図り信用構築をする。又各自地域ボランティア活動への意識の向上を図る。	評価 B B
	達成度評価 S:実施 A:計画・立案 B:試算 C:調査 D:未実施	
	来期取組 1. 八代支社空調設備見直し ・八代支社空調設備を新しい設備に更新した場合の新電気料金を示唆し、灯油ヒーターの灯油料金と比較を行う。 ・低圧電力の容量変更を行い、電気料金の削減を行う。 ・空調設備費と費用対効果を検証する。・灯油ヒーターの使用量を減らし、二酸化炭素排出量を削減する。 2. 公共工事現場における清掃活動の実施と支援参加	

■八代支社のLED化

LED照明の取替えと空調の見直しで、契約電力の料金の削減・冬場の暖房を灯油ヒーターからエアコンに切替えた場合の設備費と燃料の費用対効果を検証する。

既設照明消費電力

蛍光灯 (HF32×2灯) 高出力 92W×65台 = 5,980W
 蛍光灯 (FLR40×2灯) 85W×1台 = 85W
 蛍光灯 (HF32×2灯) 定格出力 68W×18台 = 1,224W
 蛍光灯 (HF32×1灯) 定格出力 35W×5台 = 175W
 合計 7,464W

LED照明消費電力

LED (HF32×2灯 定格出力相当) 28W×5台 = 140W
 LED (HF32×2灯 高出力相当) 38.3W×84台 = 3,217.2W
 合計 3,357.2W

照明器具をLEDに更新した場合、約55%(3,357.2W/7,464W)の消費電力の削減になる。

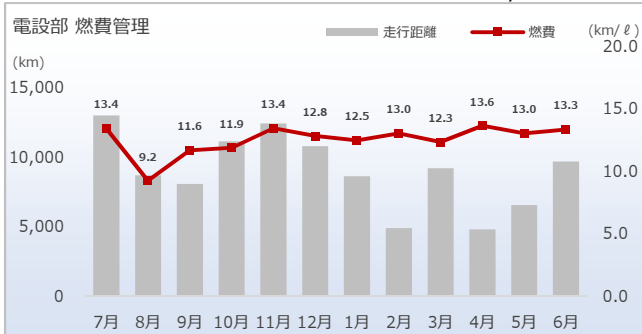


八代支社の電気料金を元に、LED照明の取替えを実施した場合の、来期 (62期) の目標を立てました。

■公共工事現場における清掃活動 (砂原四方寄線3号トンネル受変電設備工事)



■燃費管理表の提出率60.2% 平均燃費12.4km/ℓ





電設部では、公共工事現場の清掃活動及び事業所のLED更新工事を行っています。引続き八代支社の照明及び引込受電の見直しを行い、管理本部と協議し実施する予定です。

Shirasagidenki

電設部 緒方EA21推進担当

営業部

 EA21 運用と定着	今期取組 環境方針に基づく環境影響の削減及び抑制と活動 ・エコサムを利用し二酸化炭素低減と地球温暖化防止の為、環境にやさしい運転の実施を行う	評価 A
	達成度評価 S : 5未満 A : 5~8未満 B : 8~10未満 C : 10~15未満 D : 15以上	
 Action	来期取組 環境方針に基づく環境影響の削減及び抑制活動 1. エコサムを利用し二酸化炭素低減と地球温暖化防止の為、環境にやさしい運転の実施を行う。 2. オール電化の営業を強化 ・積極的な営業を心がけ、電気料金とその他エネルギー比較試算の提案書を作成し営業を行う。	



◆くまもとマイ・リバーサポート事業
 熊本県の取組としてマイリバーサポート事業に参加しており、毎年・年2回、白川河川の鹿帰瀬地区の約1kmの清掃を行っています。ゴミ袋に5個ほどのペットボトルや空き缶などがあります。



◆南阿蘇村 白鷺の森 植林ボランティア
 南阿蘇村の熊本市の借地をNPO法人しらさぎと一緒に植林を行い、その後5年間下草刈り作業を実施しています。約50名で作業をし、帰社後、おにぎり・豚汁の食事を頂きました。



好評だったおにぎりと豚汁

営業部では植林に携わる活動として、南阿蘇村植林地下草刈り作業やお取引先の下草刈り作業などに参加しています。また、熊本県との契約にて白川河川敷の清掃活動や、地球温暖化防止の為、排出ガス削減に取り組んでいます。地球にやさしい環境づくりを実施して行きたいと思っています。

Shirasagidenki

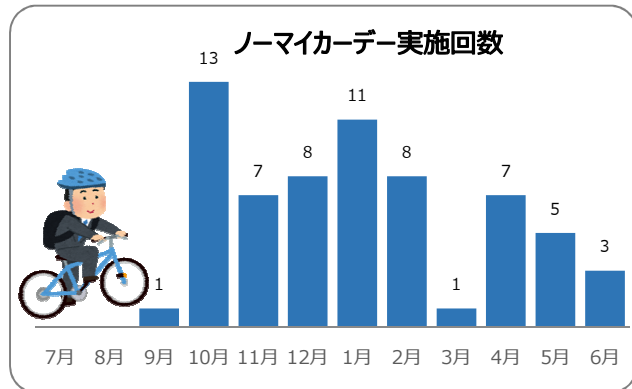


営業部 井田EA21推進担当

管理本部

<p>EA21 運用と定着</p>	<p>今期取組</p>	<p>1. CO2の削減 ・ノーマイカーデーの実施 出勤時の公共の交通機関、自転車等の利用</p>	<p>評価</p>	S
	<p>2. ボランティア活動 ・NPO主催のボランティア活動への積極的参加及び自主的清掃活動の実施</p>	S		
<p>達成度評価</p>		<p>S : 100%超 A : 90%以上 B : 80%以上 C : 60%以上 D : 60%未満</p>		
<p>Action</p>	<p>来期取組</p>	<p>1. CO2の削減 ・エコサムによるCO2削減とエコ運転の取組み</p> <p>2. エコ活動勉強会 ・エコ活動に関する勉強会の実施</p>		

■ ノーマイカーデーの実施



環境や健康に配慮し、暑い時期を避けて、徒歩・自転車やバスなどを利用して実施しました。

目標42回に対して実績64回、達成率153%と素晴らしい結果となりました。

ノーマイカーデーを実施した結果

CO2排出量が削減され、地球温暖化対策に貢献出来た。

マイカー利用を減らすきっかけになった。

公共のバス・電車を利用して、消費エネルギーの削減に貢献！

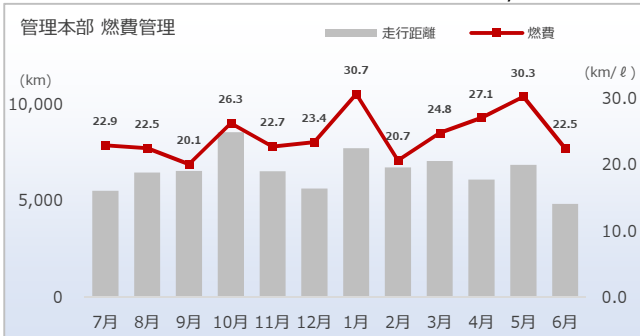
健康増進・運動不足の解消に役立った。

+😊 あなたもいかがですか？

■ ボランティア活動



■ 燃費管理表の提出率95.8% 平均燃費24.3km/ℓ ハイブリッド車を含む



会社周辺の清掃ボランティアを実施しました。歩道や植込みに思った以上にゴミが落ちていて、驚きました。今までは何気なく通っていた歩道ですが、見違えるようにきれいになりました。EA21の活動を通して、環境活動への意識も高まり、今後も継続していききたいと思います。



会社概要
企業使命
環境方針
実施体制
環境負荷
設定と目標
活動計画
取組結果の評価
活動履歴
取組
法規への違反・訴訟
全体評価と見直しの結果
次年度の活動計画

安全品質環境推進室

EA21 運用と定着	今期取組 1. 燃費向上によるCO2削減 ・エコサムを活用し交通事故「ゼロ」を目指す。 ・燃費削減に向けた表彰制度を設け、社員の意識によるCO2削減を呼び掛ける。	評価	B
	達成度評価 S : 100% A : 100%未満 B : 80%未満 C : 60%未満 D : 50%未満		
Action	来期取組 1. 燃費向上によるCO2削減 ・エコサム診断の実施 ・「まとめてくるまティクス」の運用の実施 2. 整理整頓の実施 ・各人のPC及び共有フォルダ内の整理、共有棚と個人の机内の整理		

■「エコサム」の活用（2015年9月 15台導入）

前期にエコサムを導入し、波状運転指数（走行中の無駄な加減速で発生するエネルギーロスを数値化したもの）の目標値を「10以下」に設定したところ、平均が8.2で目標達成率89%でした。今期は目標を「7.5以下」に設定し112名に実施したところ、平均が7.58で達成率82%となりました。100%には及びませんが、CO2削減の効果はあったと思います。

また、「実際にどのような運転をすると指数に現れるか？」という事で、検証実験を行いました。通常運転で指数3.9の方に、エンジンの回転数を上げ急減速・急加速を繰り返すなどエコ運転に反した運転をした結果、指数が22.5（要緊急指導ランク）に及びました。



■「まとめてくるまティクス」（2016年12月に15台、2017年3月に35台 計50台導入）

「まとめてくるまティクス」は、通信とクラウドの技術を組み合わせた次世代型車両運行管理サービスで、急ハンドル・急加減速など運転の状況をリアルタイムで確認することができ、運転者の安全運転意識向上にも効果があります。毎日の運転記録（急ハンドルや加減速・速度超過・アイドリング時間など）が自動的に構築されるので、「日報」や「月報」の形で確認することが出来ます。

エコ運転ランキング（2016.7～2017.6）

順位	部・号車	車種	エコ運転得点
1	情報通信部・64号車	軽ワゴン	86
2	発電電部・25号車	軽ワゴン	85
3	送電部・H009号車	ライトバン	84
3	電通S本部・5号車	アクア	84
5	電設部・15号車	軽ワゴン	83

エコ運転の評価（30秒毎のGPS情報とGセンサーから算出され、加速度の変化のみが減点の対象）
運転者の運転状況を分析し、「エコ運転」について数値で評価されます。今回は年間を通してのランキングを掲載しました。



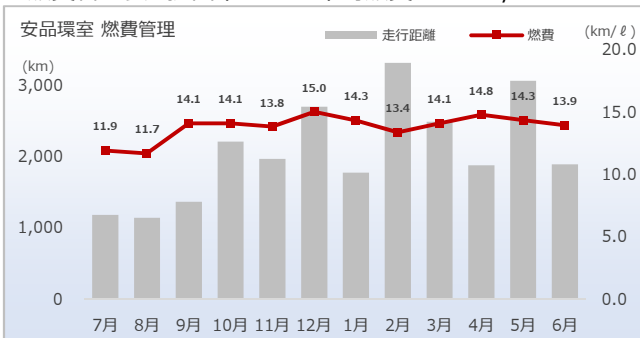
* 2017年9月 交通事故や犯罪調査のためドライブレコーダーの映像提供に関する協定を、熊本東警察署と締結し、ニュースでも取り上げられました。

■ EA21中間審査(2017年5月)

審査人より「倉庫の整理整頓を」と指摘され、審査終了後『まずは整理から』のポスターを作製し、本社・支社に掲示しました。部会等で整理整頓を実施されましたが、いつまでもこの状態を続けて行きたいものです。



■ 燃費管理表の提出率100% 平均燃費13.9km/ℓ



今後も「まとめてくるまティクス」「エコサム」のそれぞれのデータを構築し、社員の運転状況を分析します。またそれに伴い「安全運転」・「エコ運転」へと導けるように心がけ、CO2削減に貢献できるようにしていきたいと思っています。

Shirasagidenki



安全品質環境推進室 谷本EA21推進担当

<p>EA21 運用と定着</p>	<p>今期取組</p> <p>省エネルギー・省コスト関係 省エネ関連製品の知識習得及び販売促進 ・HEMS、蓄電装置など省エネ関連製品の提案・導入</p>	<p>評価</p> <p>A</p>
	<p>達成度評価</p> <p>S: 契約1件以上 A: 提案1件以上 B: 販促資料作成・整備 C: 導入後性能比較 D: 自社施設導入</p>	
<p> Action</p> <p>来期取組</p>	<p>1. 省エネ関連製品の知識習得および販売促進 ・HEMSでの性能比較、問題点の抽出、知見蓄積からBEMSの導入提案</p> <p>2. 本社建替ZEB・直流配電WG ・本社建て替えに伴うZEB化また直流配電に関する検討・仕様決定</p> <p>3. しらさぎエナジー対応</p>	

2016年10月

■ **HEMS** Home Energy Management System (ホーム エネルギー マネージメント システム) の略で、宅内電力の見える化・制御システムで重要な役割を果たします。GWソーラー社と販売契約を締結し、八代支社と菊南ゲストハウスにHEMS対応クラウド型太陽光発電サポートシステムを設置。
発電状況、消費電力状況、売電/購電状況等を簡易端末で簡単に見ることができます。



設置したPV計測ユニット

2016年11月

■ **三菱電機「中低圧直流配電システム実証棟」**(香川県丸亀市) を見学しました。

直流配電のメリット

- ① 太陽光や蓄電池の系統連系が電圧を調整するだけで可能となる。
- ② DC負荷の機器で変換ロスの回数を減らせる。

これからの日本の産業の省エネルギー化と、エコ化をさらに進化させる直流配電システムを新社屋に導入します。



中低圧直流配電システム実証棟

2016年12月

■ **道の駅植木に急速充電器を設置し運用開始**



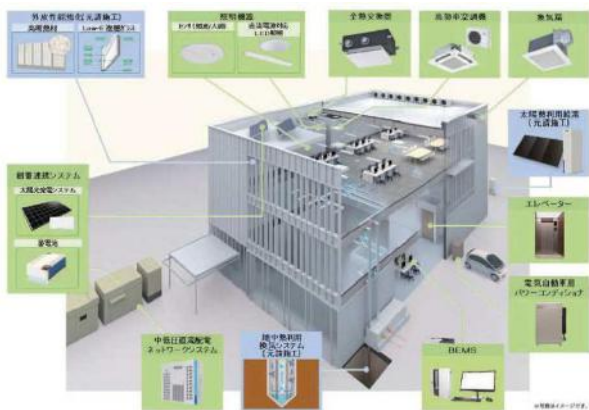
運用開始式 テープカット

九電テクノシステムズ社製の急速充電器は、1台目に充電している時間に、2台目に充電ケーブルを接続して充電を予約できる全国道の駅初の機能を搭載しています。片側の充電が完了すると自動で予約側に切り替えて充電を開始し、充電渋滞を解消します。EV等の次世代自動車の普及並びに低炭素社会の実現に貢献してまいります。

2017年1月～

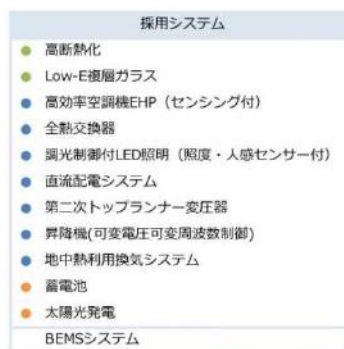
■ **本社建替えに伴う移転プロジェクトスタート**

熊本市東区石原の本社社屋は、平成28年4月の熊本地震により被害を受け、「半壊」の判定を受け、新社屋移転プロジェクトを立ち上げました。



本社ZEB化事業 イメージ図

■ **白鷺電気工業株式会社 本社ZEB化事業**



平成28年熊本地震の経験をバネに、白鷺電気はさらにパワーアップ。新社屋のコンセプトは3つ、

- (1) 災害に強いビル
- (2) ZEBの導入
- (3) 働き方改革

平成30年1月末に完成予定です。沢山の方に『災害に強く、環境に優しい新社屋』を見学して頂きたいです。

Shirasagidenki

イノベーション経営企画室 眞田EA21推進担当

会社概要
企業使命
環境方針
環境負荷設定と目標
実施体制
活動計画
取組結果の評価
活動履歴
取組
法規への違反・訴訟
全体評価と見直しの結果
次年度の活動計画

八代支社の取組

■グリーンカーテン（ヤマホロシ）

2015年3月、丈15cm程の細い苗からぐんぐんと成長していき、2016年8月には、丈は2m近くまで伸び、横にも枝葉を絡ませながら花を咲かせ、勢い良い緑でしたが、重みが出てきたので柵の強度策を思案中に、2017年7月2日(日)の夜中の強風で、柵ごと倒れてしまいました。

(地域の通路に掛っていたのですぐ撤去。その後、地域からの苦情は無かったので、一安心でした。)

また、地域の安全・衛生面に気を配って、次のグリーンカーテンの計画を進めていくところです。



2017.7.2
強風で倒れたヤマホロシ



八代支社 社屋と太陽光パネル付きカーポート

■夏場の花壇のお助け草（小蜜柑草）

雨の降らない真夏日、2～3日の水遣り無しでも元気な花壇です。

草の効果(土面の保水・日除け)が発揮されているようで、花々に被ることなく花の間に割り込みもせず、花の周りでお互いが背伸び競争している状況です。



予想していなかった小蜜柑草の背伸び
他の花々も背伸びしています。



2～3日の水遣りなしでも元気な花壇
緑は、小蜜柑草です。



八代支社 社屋横道路

■環境美化中～

外に出たら一人で入口前の道路の除草清掃をされていたので、思わず携帯カメラで記録しました。「お客様との時間調整が出きたので合間に…」という事で活動されました。誰でも少なくとも1回は、「いつのまにか綺麗になってる」と感じる時が、あるかと思えます。

ひとりの小さな手～♪
一人の小さな一歩から
始まりますヨ。

Shirasagidenki



八代支社 清田EA21推進担当



しらすぎエナジーの取組

平成26年3月に完成した「メガソーラーしらすぎ益城高遊パーク発電所」（益城町小谷）は、平成28年4月に二度の震度7の地震に見舞われましたが、がけ崩れや機器の損傷はあったものの発電には支障がなく運転を継続することができました。

なお、これを受けて平成28年10月には地震による影響が他にないかの精密点検や損傷機器の修理を行いました。

また、平成29年4月には運転開始後3年が経過することから、パワーコンディショナル（PCS）については、製造メーカー推奨等を参考に特別点検（第1、第2発電所）と部品交換（第2発電所）を行いました。

2016年10月14日

■ パワコン健全性確認及び防振ゴム交換



メーカーの方2名の応援を受け、第1、第2発電所パワコン健全性確認を実施し、熊本地震により損傷したトランス防振ゴムを4台取り替えました。防振ゴムの取替えは、狭い局舎で300kgのトランスをジャッキで持ち上げて交換します。



トランス防振ゴムの損傷を目の当たりにして、改めて熊本地震による自然の脅威を再認識しました。

■ 集電箱MCCB点検



特別点検の前に、集電箱内のブレーカー144個を地震の影響で端子が緩んだり、カバーが割れていないか、増し締め及びチェック、目視での点検を行いました。

2017年3月22日～24日、4月20日（4日間）

■ 特別点検



外観構造点検

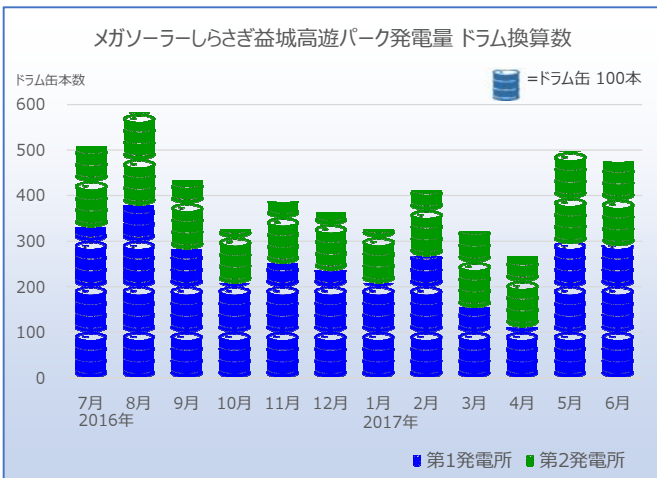
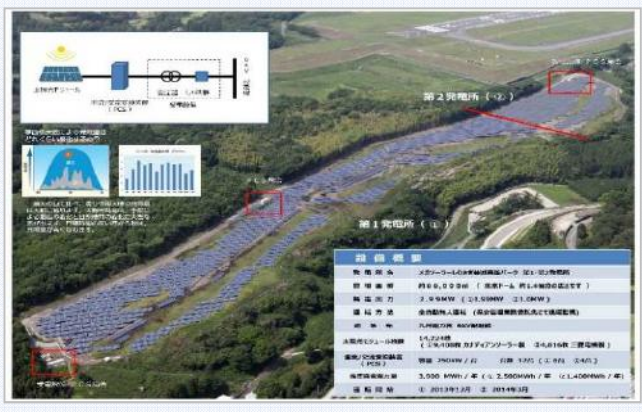
継電器試験

第1発電所、第2発電所のPCS局舎を停止し、外観構造点検、継電器試験、シーケンス試験、第2発電所の部品取替えを実施しました。

■ メガソーラーしらすぎ益城高遊パーク発電所パンフレット



見学されるお客様へのご案内用パンフレットを作成しました。地域の皆様に愛される、太陽光発電所を目指します。



3月～4月の2ヶ月間、第1発電所・第2発電所を一部停止しての特別点検や部品の取替え、また設備トラブルのため、年間で一番発電量の多い時期に発電量が落ち込んでいます。来期は、どんどん発電するぞ～☀

初めての特別点検を2017年4月に終え、ほっとしています。

3月22～24日の3日間は、冷たい雨がしとしと降っていました。

特別点検に従事して下さった関係者のみなさん、寒い中ありがとうございました。

Shirasagidenki

しらすぎエナジー 原之園EA21推進担当

会社概要

企業使命
環境方針

実施体制

環境負荷
設定と目標

活動計画

取組結果の評価

活動履歴

取組

法規への違反・訴訟

全体評価と
見直しの結果

次年度の活動計画

12. 環境関連法規への違反・訴訟

環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規への違反はありませんでした。

環境法規制の遵守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

周辺住民からの環境苦情、訴訟についてもありませんでした。



法規制等	遵守事項（法規制/自主規制）	遵守評価
家電リサイクル法 P Cリサイクル法	・リサイクル料支払い（発生時のみ） ・廃棄時の適正処置（発生時のみ）	○
自動車リサイクル法	・リサイクル料支払い（発生時のみ） ・廃棄時の適正処置（発生時のみ）	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処置（発生時のみ） ・処理委託書提出、処理報告書の受理 ・特定施設の自主点検の実施	○
建設リサイクル法	・工事に係る分別、再資源化の実施 ・再資源化完了の書面報告 ・対象工事の7日前までの市町村長への届出	○
騒音規制法	・知事へ7日前までに届出（指定区域周囲80m） ・作業敷地境界にて85デシベル以下 ・空調機（本社・支社）の届出	○
振動規制法	・知事へ7日前までに届出（指定区域周囲80m） ・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管・委託契約書（5年間保存） ・マニフェスト伝票管理（5年間保存） ・産業廃棄物の運搬（運搬車への表示・マニフェスト伝票の携帯） ・産業廃棄物管理表交付、状況報告	○
消防法	・市町村条例で定める （指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ届出）	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	・適切な調査、設計、施工及び管理を行う ・リサイクルの結果を確認し、記録を保存	—
オフロード法	・特定特殊自動車排出ガスの規制	—
悪臭防止法	・塗料等を使用する場合の作業量や時間帯の検討	—
P R T R法	・排出量、移動量の把握、届出	—
水質汚濁防止法	・知事に60日前までに届出 ・測定を実施（記録の保存3年間）	○
下水道法	・公共下水道管理者にあらかじめ届出 ・生活環境項目については、条例による	○
毒物・劇物取扱法	・ケトンその他化学物質の表示、保管	○
地下水保全条例	・ポンプ（本社）の届出	○
浄化槽法	・定期点検、法定点検の実施	○

13. 代表者による全体評価と見直しの結果

ごあいさつ

昭和22年2月に有限会社白鷺電気工業所として創業いたしました当社は、今年で創業70年を迎えました。



70周年を迎えるこの中期経営計画（平成27年～29年）を「100年企業を目指す基盤づくり」と位置づけて『Next Innovation29・創』をスローガンに掲げ、革新精神で新たな技術や事業に取り組む3年といたしました。

これからも「安全を最優先で、高品質な、環境にやさしい工事」という形でお納めし、めまぐるしく変化する社会のニーズにお応えできる体制と、人材育成に力を注ぎ、環境を大切にされた企業経営で社会に信頼され続ける、白鷺電気工業はそのような会社を目指します。

2017年11月

代表者による全体評価と見直しの結果

1. 今期の環境目標に対して、震災の影響により廃棄物の排出量の増加が原因で未達成がありました。また、来期に関しては新社屋へ移転するので、今までの実績値が参考にならない状況になりますが、半期毎に見直しをしPDCAを回して改善して下さい。
2. 「エコアクション21ガイドライン2017年版」が出ましたので、自社の環境マニュアルの見直しをお願いします。
3. 本社・支社の化学物質保管庫の整理は、定期的に声かけ及びチェックして頂いたので、社員の意識が少しずつ変わってきたように感じます。継続して声かけ及びチェックをお願いします。

白鷺電気工業株式会社
代表取締役社長 沼田 幸広



会社概要

企業使命
環境方針

実施体制

環境負荷
設定と目標

活動計画

取組結果の
評価

活動履歴

取組

法規への
違反・訴訟

全体評価と
見直しの結果

次年度の
活動計画

14. 次年度の環境活動計画 2017年度【第62期】

* 環境方針にもとづく環境影響削減及び抑制と広報活動

No.	項目		活動の具体的内容	活動場所	担当部門
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等燃料使用状況の精度向上	車両管理表への記入徹底を呼びかけ、燃費を管理する	一般道 高速道	全部門 安品環推進室
			エコドライブとエコサム導入による燃費向上	業務中・通勤	
2	環境配慮	省エネ省コスト提案	HEMS・省エネ関連製品の提案・導入促進	市場	営業部、電設部 イノベーション経営企画室
			八代支社の空調見直し	八代支社	電設部
		環境活動ボランティア活動の拡大	植林地下草刈り	南阿蘇村	NPO法人しらさぎ
			地域に役立つ社会貢献として熊本城と八代城址の清掃活動	熊本市 八代市	
			マイ・リバー・サポートへの参加	熊本県	
グリーンエネルギー事業の活用	太陽光発電所発電事業	本社 益城町	営業部・電設部 しらさぎエナジー		
3	産業廃棄物	現業部門排出量実態把握	マニフェストの管理と分別収集の徹底	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 間接部門
4	電気・水使用量	電気・水使用管理	使用量の把握と削減	本社・八代支社 京都支社	管理本部 安品環推進室
5	化学物質	SDSに基づく適正管理	倉庫の整理・整頓（SDS製品の徹底管理）	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 安品環推進室
6	環境全般	環境教育の充実	教育資料の作成と部会に参加し環境教育を実施する	本社・八代支社 各建設現場	安品環推進室
			各事業所単位の環境活動支援	地域ボランティアによる環境配慮	本社・八代支社 人吉営業所
		グリーンカーテンの実施		本社・八代支社	管理本部
		グリーン調達の推進			
		EA21取組み	EA21環境教育と意識の向上 エコ検定	本社・八代支社 各建設現場	送電部 管理本部 安全品環推進室
整理整頓	働きやすい環境作り、また本社移転に伴い書類の保管・廃棄	本社	全部門		